

自治体・協議会名	勝山市生活交通地域協議会
評価対象事業	地域内フィーダー系統

二次評価結果

評価できる取組

- ・フルデマンドバスの新規地区での運行開始に伴い、異なる地区への移動も可能としたことで利便性の向上に努め、全体の利用者数増加に繋がっていることを確認しました。
- ・北陸新幹線の延伸開業や恐竜博物館の入込の好調を受け、えちぜん鉄道勝山永平寺線や恐竜博物館直通便のバスの利用者数が大幅に増加していることを確認しました。

期待する取組

- ・市内全域のフルデマンド化にあっては、一般的にタクシーからの利用の転換は多く、バスからの利用の転換は少ない傾向にあるため、既存のバス利用者がデマンド交通の利用に転換できているか調査を実施されるよう期待します。
- ・スクールバスへの市民混乗など地域輸送資源の活用としての実施に向け、関係者間で移動の需給を集約・調整した取組の実施を期待します。
- ・現行の地域公共交通計画が最終年度を迎えるため、利用状況の把握や分析を行うとともに、多様な関係者間で連携して、次期計画策定が進むことを期待します。